

肥効調節型緩効性＋有機質肥料

ハイパー[®]CDU 有機配合



この商品は、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「太陽熱土壌消毒効果を活用した省エネ・省肥料・親環境栽培体系「陽熱プラス」の確立(平成25～27年度)」の成果を活用して開発しました。

- 1 長効きのハイパーCDU[®]と有機質肥料の組み合わせにより、追肥作業を省力できます。
- 2 カニガラ・蒸製骨粉、なたね粕などをバランスよく含んだ粉状配合肥料です。
- 3 カリは硫酸カリを使用しております。

供給/ J Aグループ

製造/  片倉コープアグリ株式会社

肥効調節型緩効性＋有機肥料

ハイパーCDU[®]

有機配合048

| | | |
|-----|-----|----|
| チツソ | リン酸 | カリ |
| 10 | 4 | 8 |

特長

- 1) ハイパーCDU[®](長期)と有機質肥料の組み合わせにより、肥効が持続するので、追肥作業を省力できます。
- 2) 有機物由来原料を約5.6%配合した粉状配合肥料です。
カニガラ・蒸製骨粉などの動物質原料(2.8%)、なたね粕などの植物質原料(2.8%)をバランスよく含んでおります。
- 3) 加里は硫酸加里を使用しており、園芸作物に適しております。

ハイパーCDU[®]とは・・・

「ハイパーCDU」は、「CDU」に溶出抑制材と分解促進材を適切な割合で組み合わせる技術により製造されます。肥効期間は3タイプあり、本銘柄にはハイパーCDU(長期)が配合されております。

ハイパーCDU(長期)：肥効期間 約90～140日

「ハイパーCDU」の原料として使用されている「CDU」は、主に微生物分解によって分解(無機化)される緩効性肥料です。無機化の速さは、一般に土壤微生物の活性と関係しますので、土壤温度が低いほど緩やかとなり、15℃以上では温度の上昇につれて加速されますが、35℃を超えると高温により微生物活性も衰えますので無機化は緩やかになります。特長の一つとして「CDU」の分解により土壤微生物(主に細菌、放線菌)が増殖して、土壤微生物層や土壤物理性の改善が期待できる事が知られています。

施肥量早見表

| 使用量 | チツソ | リンサン | カリ |
|------------|-----|------|------|
| 160kg(8袋) | 16 | 6.4 | 12.8 |
| 200kg(10袋) | 20 | 8.0 | 16.0 |
| 240kg(12袋) | 24 | 9.6 | 19.2 |

- 施肥量は土壤条件に合わせて適宜加減してください。●詳しい使い方については最寄りのJAにご相談ください。
- CDU、ハイパーCDUはジェイカムアグリ(株)の登録商標です。